



# センチュリー裁判の現状

一番 山口地裁

## 原告の全面勝訴

センチュリー裁判は、昨年、原告の全面勝訴に終わった。この間、岩国を守る「風」の会では、山口県知事並び

## 県は体面を重んじて控訴

5月10日 広島高裁で判決の予定

岩国を守る会「風」

南部 博彦

面を重んじてか控訴してきた。その第一回目の控訴審が2月15日広島高等裁判所で開かれた。実質審議を望む原告側の要望は棄却され、あらかじめ取り交わされた被告側、原告側の準備資料を確認するのみで結審し、5月10日に判決が言い渡されることになった。

山口県が、貴賓車購入の名目でトヨタの最高級車センチュリーを2090万円で購入し、事実上、県議会議長の通勤車に提供しているのは、公金の乱用であると、元県職員松林俊治氏が山口県知事を相手取って起こした、いわゆる

に県議会議長あてに、県民の声を耳を傾け、この問題の自主的な解決を図るよう要望書をだすなど側面から応援してきた。

## 県民不在の 県政を変えよう

実質審議がないことから、この裁判も控訴棄却の可能性が高いが、その場合でも担当弁護士の予想では、最高裁まで裁判が続く可能性が大とのことである。

## 二審 広島高裁 実質審議なし

この一審の判決文を讀むと、原告の主張が全面的に採用されており、控訴する余地は全くないと考えられるが、側面は、体



## 草の根文芸

ちらし寿司を塗りの器へ盛りてやる今宵の家族ものやわらかく・都留宏子  
若葉風靴下脱いで裾まくり風呂場のタイルを洗いたており・・・伊藤美紗代  
城山の椎の若葉は萌えいでて山は笑うと古人は・・・山代屋貞子

県民の常識を逸脱した税金の無駄使いを行い、提訴に対しても性懲りもなく控訴してくる県の態度をみると、県民不在の政治が、山

口県にもはびこっていると考えられ、嘆かわしい限りである。県民として、この裁判の帰趨に注目したい。

## センチュリー裁判を支援する会 ニューズ11号から

一般的に、行政の公用車購入については広い裁量権が認められている。当、不当の問題はあっても裁判所が「違法」と判断することは全国的に稀だ。違法となるのは、「裁量権の逸脱・濫用」があったときに限られる。このたびの地裁判決では購入につき、裁量権の逸脱濫用があると認定された。その理由は「歳出削減の観点から、本件契約の締結に係る検討過程

## 画期的な山口地裁判決

そのうえで、判決は、センチュリー購入は「県政運営に関する重要な事項」であったとし、村岡知事には「違法な本件契約の締結を阻止すべき指揮監督上の義務に過失があった」として、不法行為に基づく損害賠償責任を認めた。

4月9日投開票が行われた県議会議員選挙で、当選することができました。

運動をする中で今回一番感じた事は、市内全体で高齢化や過疎化が急激に進んでいて、みなさんが身近な困難に直面していらっしゃることでした。買い物や病院などの心配や不安を聞くことが多く、山口県の最大の課題である人口減少と高齢化・過疎化問題にまず取り組まなければならないと痛切に感じました。これからもみなさんと向き合い、その小さな声をしっ

## 県議選を終えて

県議 井原すがこ



かり行政に届けてまいります。どうか私を遠慮なく使ってください、いつでもお伺いいたします。

昨年、前広島市長の秋葉忠利さんが岩国に来られた時、「“草の根”のみなさんはすばらしい！本当の民主主義がここ岩国には生きています、頑張ってください」と言われた言葉が、私には忘れられません。

これからもみなさんと一緒に歩んでまいりますので、よろしく願いいたします。

## 草の根議員レポート



昨年の10月に行われた岩国市議会議員選挙の投票率は45・76%（前回50・38%）で約5ポイントも下がっている。市民に一番近い議員を選ぶ選挙で過半数を下回ったことは大変な問題だと思

う。

ちなみに前回の2019年に行われた県議会議員選挙の投票率は44・03%（前回47・52%）である。こ

平成20年、福田市長は公務外の米軍構成員等が起こした事件・事故で市民が被害を受けた場合、日米両国政府の責任において補償が受けられ、併せて、損害賠償の手続きについて、迅速かつ誠意をもって対応するよう防衛省に要望している。

これに対し、防衛省は、「公務外の事故に係る補償については、防衛省が困難な場合、日米地位協定第18条6の規定に基づき処理される事となつて

いる。米軍構成員等による事件・事故が発生した場合、公務上、

から被害者への補償が困難な場合、日米地位協定第18条6の規定に基づき処理される事となつて

いる。米軍構成員等による事件・事故が発生した場合、公務上、

## 市民を守るのか 日米地位協定第18条6

市議 重岡邦昭

償について、加害者本人が賠償責任を負い、原則として当事者間で解決される事となるが、加害者が無資力である等の理由

公務外の事案を問わず、迅速かつ誠意をもった対応に努めてまいりたい」と回答している。

しかし、昨年12月に発

らさらさら低い。選管は投票率を上げるために様々な広報努力をしているが「焼け石に水」状態になっている。では、どうしたら投票率を上げる事が出来るのか・

で女性議員の比率が低い（市町村議会15・4%）とある。女性議員を増やすことは社会の多様な声に議会が開かれ、政治がより生活に近くなり、当事者性を持つことになるとあった。確かに、行政の取り組みの中

が沢山いれば政治に関心が集まると思う。ほかには、令和5年3月7日の中国新聞の記事には「山口県議会議員の一般質問 4年間平均5・6回」とあった。任期中の4年間で質問を1回もしていない議員が6人もいるのには驚いた。有権者側も、無関心ではなく厳しく議会に目を向けなければ私たちの暮らしは良くならないと思う。

## 選挙の投票率アップで 議会の活性化を図ろう

市議 広中英明

3月19日付けの中国新聞「識者評論」に熊本大教授・伊藤洋典さんの投稿記事、「政治は男」の概念を破れ」の中で、地方議会の中

で出産・子育て・福祉・教育・環境・介護・医療など女性の考えや経験が必要な事業が沢山ある。身近な課題について取り組む候補者

私も皆様の声を議会に届け少しでも暮らしやすい岩国市になるよう努めてまいります。



市民政党  
**草の根**  
党費の納入について

「草の根」の活動は、みなさまのご支援により支えられています。  
今年度（1月～12月）の党費の納入は、以下の要領でご協力よろしくお願いたします。

- ①お届けした振込み用紙で
- ②地域のお世話人へ
- ③直接事務所へ

党費 党員 1千円  
特別党員 1万円

草の根事務所へご一報いただければこちらから出かけてまいります。

**かつすけウラ話**

1  
年代別  
位

元気な  
おぼあさん！

3月5日に行われた錦帯橋ロードレースに出場した家内は、年代別（60歳代）で17人中1位でした。大した練習もしないのに、農業で鍛えているからでしょうか。選挙期間中も誰よりも元気に駆けまわったようです。

（かつすけ記）



**草の根ネット案内**

 <p>井原すかこの情報 井原すかこの情報</p>	 <p>井原すかこの情報 井原すかこの情報</p>	 <p>草の根ネット 草の根</p>
--	--	---



放送法の政治的公平性に関する大臣への説明を記録した文書について、高市元総務大臣は、捏造だと繰り返し答弁し、事実なら辞職するとも発言。これに対して、総務省は調査結果を公表、「大臣への説明が行われた

**捏造**

（ねつぞう）

可能性が高く、捏造はなかった」と結論づけている。法律の重要な解釈に関する説明を大臣に行うとすれば、一部始終を詳細に記録し、文書にして担当部署で共有するのが官僚の常識である。安倍元首相ではないが、政治が無理やり指示をしない限り、官僚自ら行政文書を捏造することはあり得ない。国会の場で、国民に対して平気で嘘を言うなど、政治家の資格なし。

**草の根コラム**

私は「草の根」会報の5号、井原すがこ議員の「議会報告」は創刊号から2紙の編集と、当コラムを担当というお手伝いをさせていただきました。このたび、個人的な事情から、2紙の担当業務を引き継ぎすることにいたしました。

**お礼**

ただ、毎号、編集には緊張しながら精一杯務めたつもりですが、草の根や議員の各活動に寄与できたかと反省をしながらの連続でした。また、読みやすく親しんで頂けるようにと、テキストなどを繰り返しながら編集に務めたつもりです。混沌とした国内外の政情を正しく見つけ、考えて行動する大事な会報であり議会報告です。さらなる発展を祈りお礼とさせていただきます。